

『紡ぐ』

2022.9.1 第47号
発行 教育相談室「あした塾」

どうなる？ 学校統合

穴水町は穴水、向洋両小学校の統合に関して、保護者や地域住民に対する説明会を合
わせて2回行ってきました。しかし、当然のことながら穴水小学校、向洋小学校の下では、
その間に度には大きな温度差があります。学校が1つなくなるということの影響を想像し
てみてください。とても大きな問題なのです。残念ながら、統合に関する検討委員会の議



論がきちんと行われていたとは言えず、来年度一度
も出席しなかった委員もいます。さらに、説明会に
一度も参加しなかった委員もいます。他府県のことでは
ないのです。無責任のそしは免れないでしょう。

吉村光輝町長は「説明責任はしっかりと果たしていく」と
話しています。保護者、住民の声をしっかりと受け止
め、保護者、住民に寄り添った対応を願いたいものです。



登壇めぐりの途中、能登フインに寄りよした。下ツ
火田は四季折りの素晴らしい風景を見せてくれ
ます。この日は下ツ火田で秋を感じました。

町中御意見

あつおれいはい？ 8月17日、能登
地方は大雨。穴水町も
宇留地地区内を川の氾濫。床上、
床下浸水も。門前、穴水には避難指示が出さ
れ全国ニュースになり、県外から心配する声が届
きました。ところが、その最中、町の防災放送
は「熱中症に注意を」で…。これ、お
やしくない!? の声もありました。いろいろ情報
はテレビでしかなく、

9月議会、一般質問は？

9月議会が始まります。「一般質問は
や、何の役にも立たない。おれもんパフォー
スや、〇〇」と言い放った議員がいる。何を
考えとんのや。」との声。この議員さん、「議員必
携」を読んでいるんです。町民の責任？ さて、来年度
9月には統一地方選挙です。(登壇の百年木)



8月23日 穴水再発見の旅・第

々弾「旧能登線・能登駅めぐり」を実施されました。所内外から13名(当初予定16名)が参加し、「確かに人の営みがあった、痕跡をたどりながら、時の流れをあらためて感じる時間を過ごしました。参加した皆さんは各駅ごとに百年木を確認したり、待合所をのぞきこんだり写真を撮ったり。用意されたパンフレットのメモ欄には次々と書き込まれた。



(甲駅の待合所)

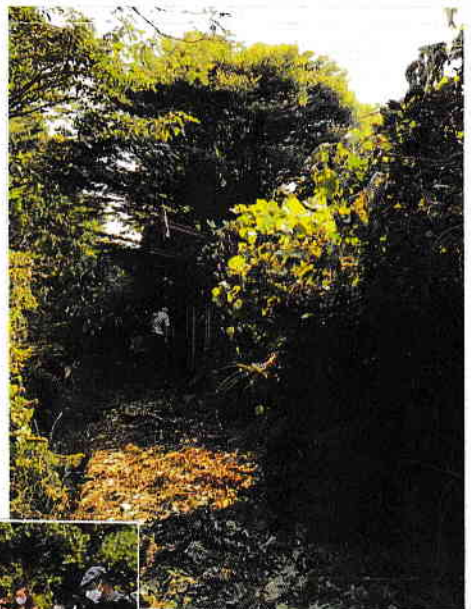
中尾駅

は地域の人たち、ホームと線路跡の

草刈りなどをし、いつもきれいに整備されています。春の桜の風景、そして素晴らしい「汽車が走っていた頃の桜と汽車の風景」が想像され、その当時の写真を持っていないかあ～という声も聞かれました。

古君駅

では、現職時、「のと鉄道」に勤めたことがある明子寺の星野清一さんより、前波駅や古君駅にゆかりのエピソードや旧国鉄能登線脱線事故の話を聴きました。案外、この古君駅、ホームへの入口むかしはいろいろ荒れていたけれど、このツアーの前に星野さんご本人の通るくらいに草刈りをしてくれていた。百年木の表示板もちゃんとありました。(文字は劣化して読みとれませんが)



甲駅では新しい発見が...



甲駅の桜も素晴らしいので、その桜の木の下で、なんと「経路遺跡」という石碑がありました。これは何!? 調べてみる必要がありそうです。地元の人たちも知らないようです。穴水町には、このように時の流れとともに埋もれてしまっている宝物がいっぱいあります。町のためには生かさない手はありません。今回のツアーに参加した人々、「(このツアー)これこそ穴水再発見に相応しい」という声も...



(秋田駅の名に相応しい(?) 草木の中の古君駅)

次号に今年度4回のツアーのお話を載せよう。来年度のツアーの写真展を開催する予定です。